



東濃地区の子育て・親育ち通信

「家庭教育なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただけます。

家庭教育なう

No.9



2025年12月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 208)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

活動の時間を選択! 参加者の状況に対応した家庭教育学級



瑞浪市立瑞浪北中学校 家庭教育学級

「卒業式のコサージュづくり」

取材日 令和7年10月29日(水) 17:30~19:00

講師 関 ゆかり 先生(フラワーアレンジメント「Kurumi くるみ」)

参加者 Bコース選択3年生保護者31名と家庭教育委員5名、PTA会長



「コサージュ作り、みんなでワイワイやれたのでとても楽しかったです。」



関先生の説明をしっかりと聞いて制作に取り組みました

【この取組の紹介(保護者への案内文から)】

瑞浪北中学校家庭教育委員会では、昨年度に引き続き「卒業式」にお子様の胸元を飾るコサージュの製作についてご案内いたします。なるべく多くの方にご参加頂けるよう、3つのコースを設けてあります。各コースについては以下をご覧ください。準備の都合上、各コースの人数を把握したいと思いますので、下の調査票にてご希望のコースをお知らせください。よろしくお願いいたします。卒業を迎えるお子様へのプレゼントとしていかがでしょうか。多数のご参加お待ちしております。

講師の関ゆかり先生は、土岐、瑞浪市を中心にフラワーアレンジメントを教えてみえます。

今回のコサージュづくりは、作品としては小さいので、細かい所がポイントになってきて、製作がむずかしいそうです。

各コースの選択割合

Aコース 約50%

Bコース 約27%

Cコース 約23%

柴田PTA会長から、「卒業式で子どもたちに親の手作りのコサージュをつけて臨むことが『瑞浪北中学校の伝統』になっている」ことを伺いました。今年は、昨年度よりCを選択された方が少なかったそうです。

A 「自宅で製作」コース

- ①材料と道具(グルーガン)が入った製作キットを配付します。
- ②講師の先生が作り方を解説するYouTube動画を見ながら、ご自宅で製作します。(動画視聴方法については後日お知らせ)



Aコース用キット(委員さんが配付準備)

B 「学校で製作」コース

- ① 10月29日(水) 17時30分に学校に来て、講師の先生の指導の下、製作します。
- ②できたコサージュは、卒業式までそのまま学校で保管します。



Bコース制作風景

C 「作って♡お願い」コース

- ①Aコース、Bコースともに難しい方につきましては、Bコースの製作日に、家庭教育委員長を中心に、代わりに製作します。
- ②できたコサージュは、卒業式までそのまま学校で保管します。



Cコース用完成作品

家庭教育委員の感想(当日は2時間前から集合して準備をしてみました)

(Cコースの方の分も制作して)たいへんかなと思いましたが、楽しく制作できました。子どもが2年生にいますので、来年のためになりました。(笑顔)

○「卒業式のコサージュ作り」の家庭教育学級、保護者がコースを選択して取り組める、その工夫がすごいと思いました。またその工夫を支える委員さんの献身的な下支えがあることもわかりました。瑞浪北中学校の卒業式。その伝統の一翼を担っているという使命感、気概を感じる取組でした。

防災ワークショップ「中学生だからできる防災」

日時 令和7年10月24日(木) 13:50~14:40
 場所 多治見中学校 武道場
 講師 名古屋工業大学 兼田研究室学生 稲垣碧乃さん、酒井彩花さん
 顧問 清流の国ぎふ防災・減災センター 岩井慶次さん(防災士)
 協力 多治見市防災士 伊藤尚美さん
 参加者 多治見中学校2年生生徒153名とその保護者76名



防災マップについて発表するグループ

身近な災害危険箇所を共有して防災マップをつくろう



中学生には、**大人に働きかける力**がある！ 親子で防災マップを作成

多治見中学校では、毎年10月に「多中教育の日・授業参観」を実施しています。今年度、中学2年生の生徒を対象に、名古屋工業大学、清流の国ぎふ防災・減災センター、多治見市防災士の協力を得て「防災ワークショップ」を体験しました。主な活動は、地域の危険箇所について書き込みながら共有し、防災マップを作成することです。

マップ作成について、生徒同士・保護者が、身近な危険箇所について考え、マップ上に印をつけました。家に帰って、実際にその危険箇所を観察してくるになっています。この様子は本日、開催された「学校運営協議会」の皆さんにも公開され、その後の会議でも話題とされました。今後の防災学習について地域との連携が期待されます。12月には、第2回目の取組として「災害について知り、災害時の自分の行動を計画しよう」という授業を予定しているそうです。

主な学習内容

- 1) なぜ防災について考えるべきなのか
- 2) 災害の種類から多治見市の災害を考える
 - 多治見市の地形から
 - 浸水した多治見中学校の廊下
- 3) 土砂災害とハザードマップ
- 4) 危険箇所を見つけよう
- 5) 防災マップづくり
- 6) 今後の学習の見通しについて

事前に用意された地域のマップ



始めは遠くから様子を見ていた保護者の方も...



時間とともに熱が入り、生徒と一緒に危険箇所を相談

【保護者の感想】

- ・子ども達が、自分たちで積極的にやっていたので、脇で見ていようと思ったのですが、一緒にやってしまいました。防災については、関心があったので、しっかりと関わってしまいました。(笑) 家でも身近な危険箇所について、話し合ってみます。

【生徒の感想】

- ・身近なところの危険が、意外と多かったと思います。実際に地図にシールを貼って、そう感じました。
- ・友だちと相談しながら、危険なところを考えました。水まわりのところが危ないわかりました。



保護者の防災に関する関心は高く、万が一にそなえて自分の命を守るためにも、家庭での話し合いは必須です。☎

参観された学校運営協議会の方もこの授業に注目してみえました。「地域において中学生の力を借りたいのは、実際に避難所の設営のときです。地域をよく知っている彼らの力に期待しています。」とお話されていました。

中津川市坂本公民館 坂本乳幼児学級

こどもの「育ち」を知って育てる

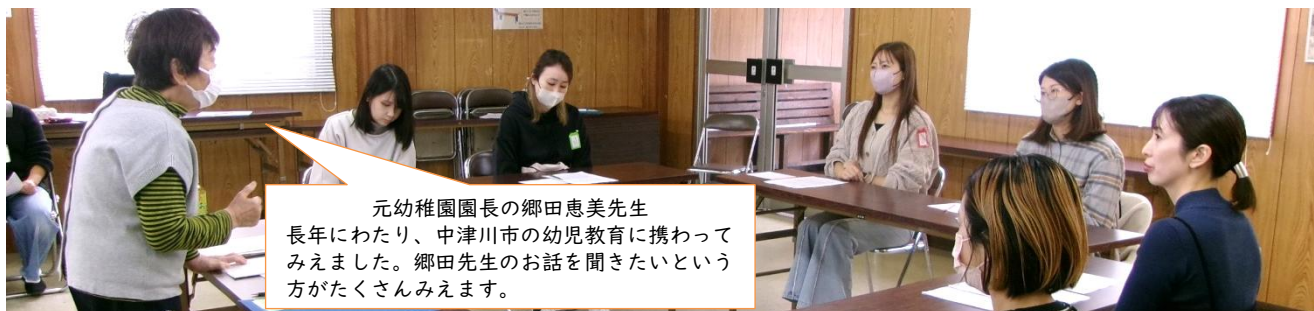
日時 令和7年11月13日(木) 10:00~11:30

講師 郷田 恵美さん(元東濃地区社会教育振興協議会会長、中津川市の私立幼稚園元園長)

担当 渡邊 恵美さん(坂本事務所所長補佐) 石田 美紀さん、鈴木 愛さん(すくすくわくわくまあるいこころ)

参加者 乳幼児学級受講者 6名

「これからまた、子育てがんばろう!と思えました。」



元幼稚園園長の郷田恵美先生
長年にわたり、中津川市の幼児教育に携わって
みえました。郷田先生のお話を聞きたいという
方がたくさんみえます。

坂本乳幼児学級、11月は、郷田恵美先生から、「こどもの『育ち』を知って育てる」と題した教育講話を伺いました。郷田先生は、長年にわたり、中津川市の私立幼稚園元園長としてお勤めになり、中津川市の幼児教育に多大な貢献をなされた方です。現在は、ご講演活動、そして、中津川市家庭教育推進会議のメンバーとしてもご活躍です。この長年のご経験と学びに裏付けされた貴重なお話、その内容を一部ですが、紹介します。

「こどもの『育ち』を知って育てる」

～21世紀の中盤を生きていくこども達、
何を大切に育てたらよいのでしょうか～

講話の概要

1 見守る子育て・人生のスタートは
愛着形成から

- ・愛着形成が出来ている子は、基本的安心感をもとに新たな課題に挑戦し、これを繰り返すことで成長していくのです。(視線・接触・言葉)
- ・脳の奥に組み込まれた感覚は、一度着いたら一生消えないのです。

2 こどもの困った行動にはワケがある

- ・こどもの発達について知っているとゆとりをもってこどもに接していけます。
- ・自己確認期…イヤイヤ期と言わないで、「心のおりあいをつけることができる大切な時期」と考えます。

3 幼児期、とことん遊ばせましょう

- ・この時期の子どもの遊びは非認知能力も育てます。数字では測れないですが、生きる上でとても大切な能力を獲得しているのです。

おわりに

生まれて直ぐからの愛着形成に始まり、その年齢に応じて思う存分遊び、学んできた子は、いつでも自己肯定感に裏打ちされた自信を持ち、集団の中心となって、愛と平和の精神をもち活躍してってくれと信じています。

最後まで力強いエールでお話を締めくくられました



ずっと立ってお話される郷田先生

中津川市家庭教育支援チーム(すくすくわくわくまあるいこころ)の皆さんもご活躍

今回の乳幼児学級をサポートしてみえたのが、石田さん、鈴木さんでした。支援チームの活動に携わるのは、石田さんは今年から、鈴木さんは2年目だそうです。お二方も、お子さんの成長に合わせて、家庭教育支援を開始されました。新しい方の力がみなぎる中津川市の人材育成のすばらしさを感じました。



講演会後のQ&Aも充実

3名の方の質問を皮切りに、「黄昏泣きへの対応」「愛着の取り戻し」「集団遊びへの対応」など、多岐にわたって知ることができました。先人の知恵にふれ、学びの深まる時間でした

講話終了後の感想を真剣に書く参加者のみなさん



「今日の3つのお話は、子育ての時期に大切と限ったことではありませんよね。思春期でも、大人になっても、通じる内容ですよね。」と終了後の井戸端会議で話題になりました。子育てを学ぶ姿勢は、形式陶冶も促し、豊かな人生の歩みにつながります。☺

<園や学校の家庭教育担当の保護者・先生へ>

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動 啓発チラシ配布について~岐阜県からお知らせ

話そう! 語ろう!

わが家の約束 運動

家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

運動の取組方法

- ①家族で話し合って「わが家の約束」をつくります。
- ②取組を実践カードに記録します。
- ③実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- ④次の約束を話し合います。

どんな約束をつくればいいの?

例えば・・・

- ◆家族みんなで早寝早起き
- ◆家でも元気に挨拶
- ◆スマホやタブレットは夜9時まで
- ◆家族みんなでそろって朝ごはん
- ◆一日一回「ありがとう」を伝え合う
- ◆目を見て笑顔で「行ってきます」
- ◆今日頑張ったことの報告会

☆子どもだけでなく、家族みんなの約束にしましょう。
☆互いに大切にしたいことを伝え合い、約束にするのもいいですね。

家庭で教え、育みましょう!

家庭教育とは

岐阜県家庭教育支援条例より

実践を紹介します

八百津町立八百津東部中学校

親子ふれあいチャレンジ

八百津町では、町内の全小中学校に向けて、「親子ふれあいチャレンジ」の啓発文書を発行しています。八百津東部中学校でも長期休業期間に「親子ふれあいチャレンジ」に挑戦しました。

令和5年冬休みのチャレンジ!

親子でおもてなし

活動を終えて
久しぶりの食事を作るお手伝いだったけど、自分の頭で考え、言われたことをしっかり取り組めた。チャレンジしてよかったです。

家族から子どもへ
一人で準備するよりも短時間で済みました。母にも褒められて、大成功! どうもありがとう。

令和6年夏休みのチャレンジ!

一家庭ボランティアチャレンジ

取り組んだこと
「犬のお世話」を中心に、「夏祭り」の準備販売や「朝食づくり」にもチャレンジ!

挨拶チャレンジ、親子読書、親子学習、自然体験チャレンジなど種々です。家族で話し合って決めること、そして、できることや頑張ったことを認める場を大切にしています。

ここがイイね!

12月には、上記のような「令和7年度啓発チラシ」が県内中学校宛に岐阜県環境エネルギー生活部県民生活課より送付されます。すでに7月には県内幼・保・こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の幼稚部と小学部(全保護者対象)には送付されました。

家庭教育学級の年間計画を拝見しますと、冬休みの長期休業日を利用し、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動、または、それに準ずる家庭と学校をつなぐ在宅型の家庭教育学級に取り組まれる園や学校が多くあります。それぞれの取組に合わせ、チラシの配布や実践カードの記入など、有効にご活用ください。また、7月送付のチラシも予備があります。必要な園、学校がありましたらご連絡ください。

(恵那県事務所 0573-26-1111 【内線208】)

「令和7年度家庭教育学級実施調査」及び

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動への取組状況調査のお願い

県内の公立小中学校・幼(稚・児)園・こども園における家庭教育学級の実施状況について、今後の県の施策に反映していく目的で、各市を通じて、調査を行います。県民生活課より各園・学校に調査の依頼があると思います。ご協力をよろしくお願いします。

保護者組織の中に、家庭教育(子育て)委員会がなくても、本部役員会や研修委員会等で、その役割を担っている園、学校もあると思います。家庭教育学級と名付けて実施していなくても「園・学校」と「家庭」をつなぎ、「家庭教育」を意図している取組については数に入れてご回答をお願いします。